

潤多摩。

外国人は多摩へ来たる？



多摩学班2025
06.21 発表



出だしは「潤日」



水盛先生は、「潤日」をやりたい、と言った。



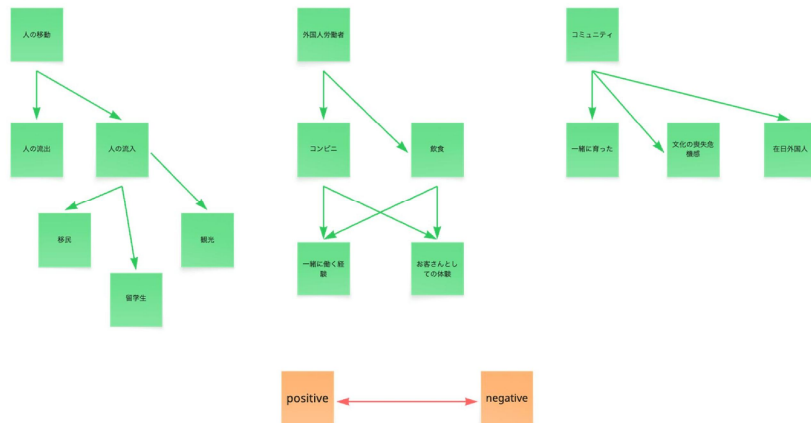
舛友雄大『潤日—日本へ大脱出する中国人富裕層を追う』(東洋経済新報社、2025年2月)

外国人をめぐる論点の整理



- 私たちは、どう思っているのか、日本にる外国人について思うこと、感じることを出し合った。

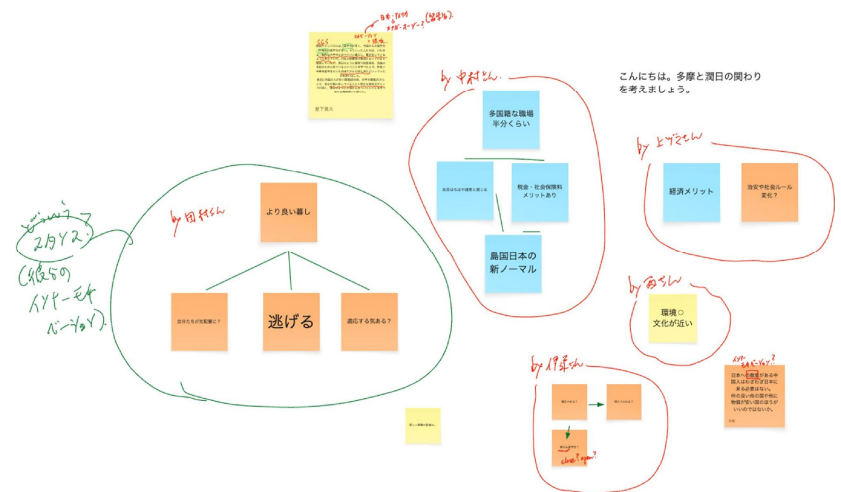
<4/19に出た問題意識>



外国人をめぐる論点の整理



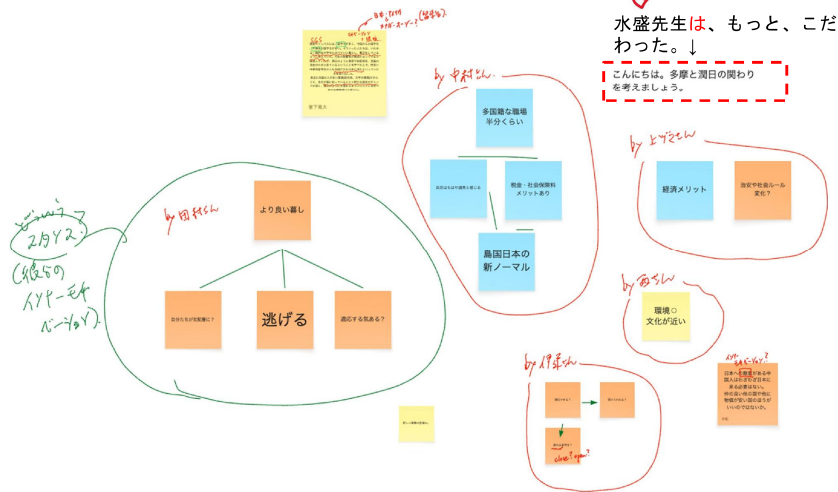
- もっと、話し合った。



外国人をめぐる論点の整理



- もっと、話し合った。水盛先生とも。



- 全員の関心事を、レポート課題から頻出単語としてワードクラウドにしたもの。



ステップ1

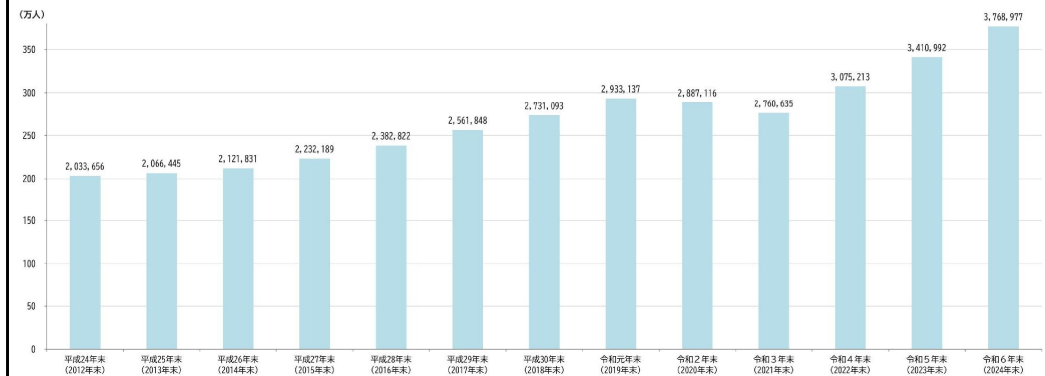
日本に来たる外国人のあれこれ



在留外国人数の推移



- 在留外国人者数は年々増加傾向にあることがわかる
- 特に東アジア地域からの増加数は顕著であり、今後多くの課題や問題が想定される。

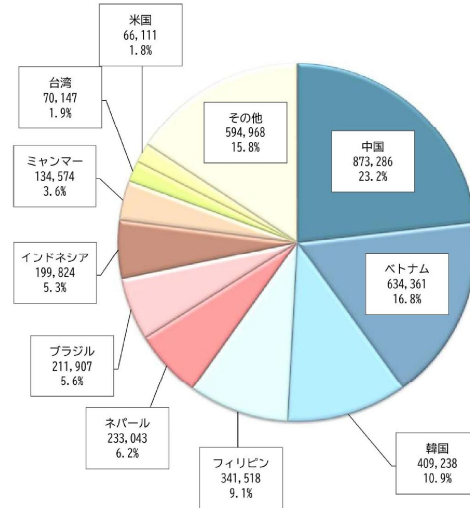


出入国在留管理庁「令和6年末現在における在留外国人数について」(公式サイト、2025年3月14日発表、2025年6月14日閲覧) https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00052.html

在留外国人の国、地域別数（2024年末）



中国	873,286
ベトナム	634,361
韓国	409,238
フィリピン	341,518
ブラジル	211,907
ネパール	233,043
インドネシア	199,824
ミャンマー	134,574
台湾	70,147
米国	66,111
単位(人)	



出入国在留管理庁「令和6年末現在における在留外国人数について」（公式サイト、2025年3月14日発表、2025年6月14日閲覧）https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00052.html

8

ステップ2 日本で働く外国人のあれこれ



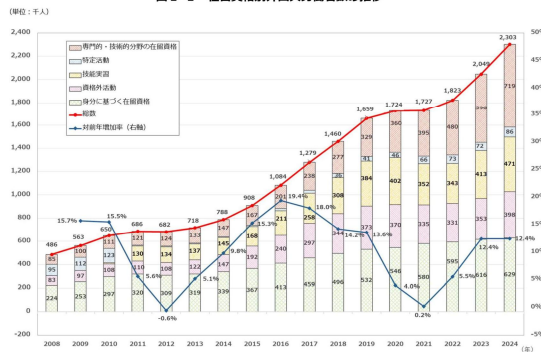
9

外国人労働者について



- 日本での外国人労働者が増加してきている。
- 主にアジアの大半の人々が多い
- また、長期間にわたってアルバイトをしている方がいる

図 1-1 在留資格別外国人労働者数の推移



厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課海外人材受入就労対策室「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和6年10月末時点）」（厚生労働省公式サイト、2025年1月31日発表、2025年6月14日閲覧）https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html

10

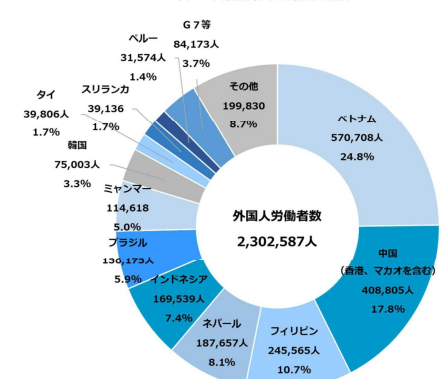
国籍別外国人労働者の割合



令和4年4月末に時点では**1,822,725**人、令和5年10月末**2,048,675**人と、**225,950**人加していることがわかる。私は、外国人労働者の増加について反対では、ないですが外国人にとって日本は、稼ぎ時でもある。

ベトナム外国人労働者の割合がおおく**570,708**人その次に中国**408,805**人、フィリピン**245,565**人

図 3 国籍別外国人労働者の割合



厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課海外人材受入就労対策室「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和6年10月末時点）」（厚生労働省公式サイト、2025年1月31日発表、2025年6月14日閲覧）https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html

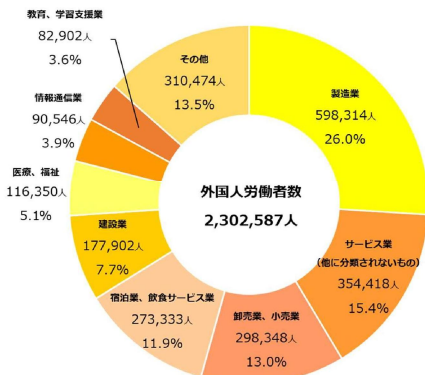
11

外国人労働者（短期・長期）



- 近年、日本では外国人労働者の数が急増している。特にコンビニや介護、建設など、人手不足が深刻な業界では、技能実習生や特定技能制度によって多くの外国人が受け入れられている。
- 今後の日本社会を持続可能にするためには、単に「働いてもらう」存在ではなく、外国人労働者を「ともに生きるパートナー」として捉え直す視点が必要だと考える。

図6 産業別外国人労働者の割合



厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課海外人材受入就労対策室「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和6年10月末時点）（厚生労働省公式サイト、2025年1月31日発表、2025年6月14日閲覧）https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html

12

（参考）技能実習制度等について

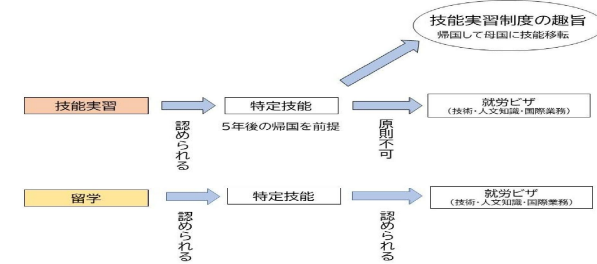


コンビニ、介護、建設などの人手不足業界を中心に、「技能実習制度」や「特定技能制度」により受け入れが進む。

技能実習制度の課題：「技能移転」が建前ながら、低賃金労働や失踪、人権侵害の問題が指摘される。

<技能実習制度とは>

技能実習制度は、国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長5年間）に限り受け入れ、OJT（On the Job Training）を通じてご能を移転する制度です。開発途上国の経済発展を担う「人づくり」を目的として、1993年に創設されました。



田中愛湖「技能実習生は就労ビザに変更できるのでしょうか？」（行政書士たなかオフィス、2023年2月8日最終更新、2025年6月14日閲覧）
<https://gifu-gyosei.com/技能実習生は就労ビザに変更できるのでしょうか/>

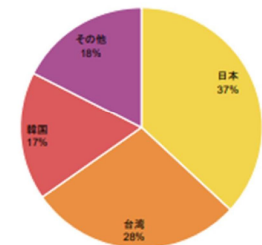
13

外国人労働者の受け入れ競争



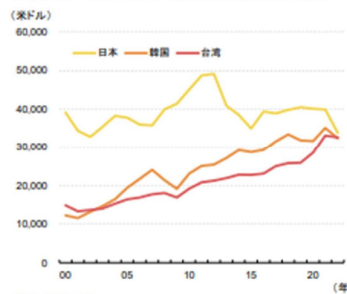
1. ベトナム人就労先が日本、台湾、韓国が拮抗
2. 3国ともGDPはほぼ一緒

図表2 ベトナム人の海外就労先の国別比率(2022年)



(出所)ILO-ILMS

図表12 日本・韓国・台湾の1人あたりGDP



(出所)IMF

井口り子「さまざまな国へ向かう東南アジアの海外就労者～日本の外国人労働者誘致の競争相手は韓国・台湾以外にも～」(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 2024年3月6日最終更新 2025年6月17日閲覧)

https://www.murc.jp/library/economyresearch/analysis/research/report_240306/
https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2024/03/report_240306_01.pdf

14

外国人労働者が抱える問題



1. 賃金が安い
2. 労働基準法違反が7割超

表)在留資格区分平均賃金

在留資格区分	月額平均賃金	平均年齢
外国人労働者計	218,100円	33.3歳
専門的・技術的分野 (特定技能を除く)	302,200円	31.8歳
特定技能	174,600円	28.1歳
身分に基づくもの	257,000円	44.4歳
技能実習	161,700円	27.1歳
その他 (特定活動及び留学以外の資格外活動)	205,300円	32.2歳

技能実習平均:161700円



[1]外国人雇用相談室「外国人労働者の賃金 現状と課題、日本人との違いなどを丁寧に解説！1-1 事実、外国人労働者の賃金は日本人より低い」(作成日2022年4月19日 最終更新日2023年2月25日 2025年6月17日 <https://ghrlab.com/article/foreign-workers-wage>)

[2]厚生労働省「外国人技能実習制度の現状と課題 令和5年7月25日 第11回繊維産業技能実習事業協議会資料」(作成日2023年7月25日 最終更新日2025年1月27日 2025年6月17日閲覧)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kovou_roudou/jinzaikaihatsu/global_cooperation/index.html
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/qinouisshukuyougikai/230725/3-1.pdf

15

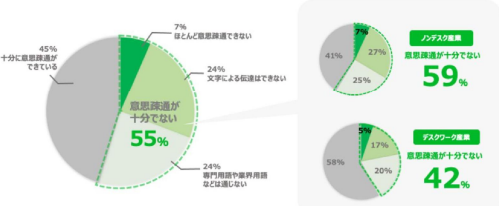
外国人労働者支援の必要性



- ▶外国人労働者によって日本の課題を解消できる
⇒しかし、外国人労働者への負担が深刻化
- ▶主な理由「雇用条件の悪さ」「職場でのいじめ」
⇒いじめが特に問題。理由の多くは言語と文化の違い
- ▶実際接して見ると、問題もなく理解しようと頑張ってくれる
⇒何かしらの言語を解消できる支援があっても良いのでは？

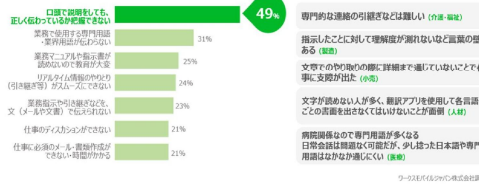
外国人労働者との意思疎通ができていないか

N=1,000 (外国人労働者と働いている社員)



外国人労働者と働く中で困っていること

N=100 (外国人労働者の上司や同僚に当たる社員)



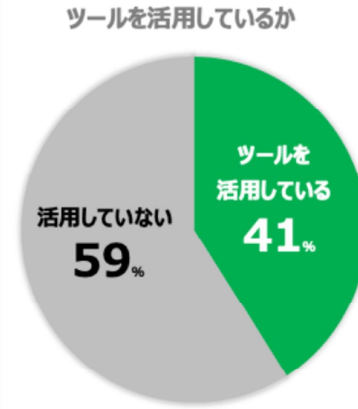
ワークモバイルジャパン株式会社プレスリリース「【外国人労働者とのコミュニケーション実態に関する調査】一緒に働いたことがある社員の55%が「意思疎通が十分でない」と回答—49%が「口頭で説明をしても正しく伝わっているか把握できない」と回答し、業務マニュアルの理解などテキストコミュニケーションにも課題感」（公式サイト、2023年5月30日作成、2025年6月14日閲覧）<https://line-works.com/pr/20230530/>

外国人労働者との接し方の現状



外国人労働者とのコミュニケーション問題の解決策

N=1,000 (外国人労働者と働いている社員)



具体的な解決方法 ※複数回答

ゆっくり話す (41%)
翻訳アプリを使う (25%)
外国語を話せる日本人スタッフを介してやりとりを行う (19%)
図やイラストを使う (18%)
絵やホワイトボードに書いて話す (15%)
翻訳機を使う (12%)
日本語の研修を実施 (11%)
チャットの翻訳機能を使う (9%)
日本人スタッフとペアになり、相互にサポートしあう仕組みを導入 (8%)
異文化理解や多様性を学ぶ研修やイベントを実施 (4%)

ワークモバイルジャパン株式会社調べ

ワークモバイルジャパン株式会社プレスリリース「【外国人労働者とのコミュニケーション実態に関する調査】一緒に働いたことがある社員の55%が「意思疎通が十分でない」と回答—49%が「口頭で説明をしても正しく伝わっているか把握できない」と回答し、業務マニュアルの理解などテキストコミュニケーションにも課題感」（公式サイト、2023年5月30日作成、2025年6月14日閲覧）<https://line-works.com/pr/20230530/>

外国人労働者との共生

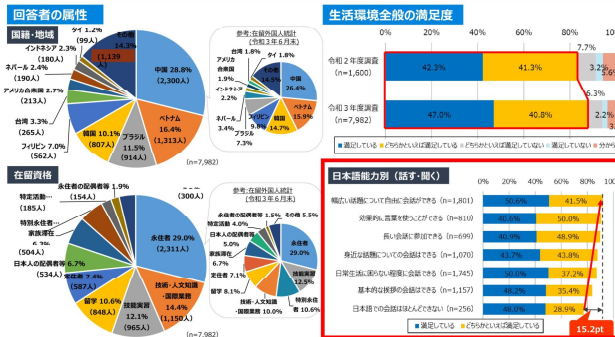


生活支援の不足：言語・文化の壁、地域社会との共生困難など、長期的な定住環境が整っていない。

日本に住む外国人は、この30年で約3倍に増え、日本に住む外国人の国籍が多様化。外国人が日本で安心して生活するためには、国や地方公共団体からのお知らせなどを正しく理解することが必要。

令和3年度 在留外国人に対する基礎調査—主な結果①(回答者属性・生活環境全般の満足度)

- 回答者の国籍・地域は、「中国」(28.8%)、「ベトナム」(16.4%)、「アラブ」(11.5%)の順に多い。
- 回答者の在留資格は、「永住者」(29.0%)、「技術・人文知識・国際業務」(14.4%)、「技能実習」(12.1%)の順に多い。
- 日本で生活に満足している者(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、87.8%(令和2年度調査と比較すると、4.2ポイント増)。また、日本語能力が高ければ高いほど、同割合は大きくなる傾向にある。



出入国在留管理庁「外国人との共生社会の実現に向けた取組と課題—「生活オリエンテーション」と「相談窓口」を中心に」(2023年2月22日開催「令和4年度外国人の受入れと社会統合のための国際フォーラム」) 出入国在留管理庁在留管理支援部長塚宏講演資料、2025年6月14日閲覧 https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page23_004412.html <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100546100.pdf>

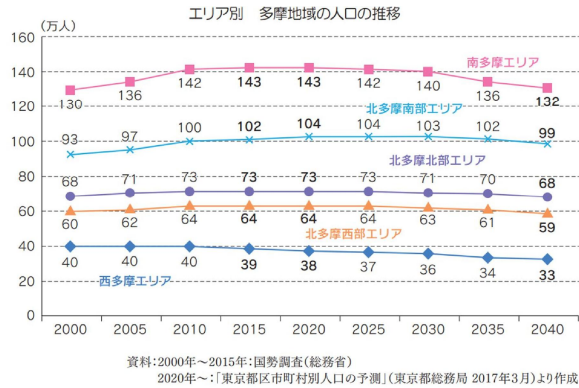
ステップ3
多摩に来たる？外国人のあれこれ



多摩地域の人口推移



- 今後多摩地域の人口減少が見込まれる
- 西多摩エリアでは既に人口減少が始まっている^{[1][2]}

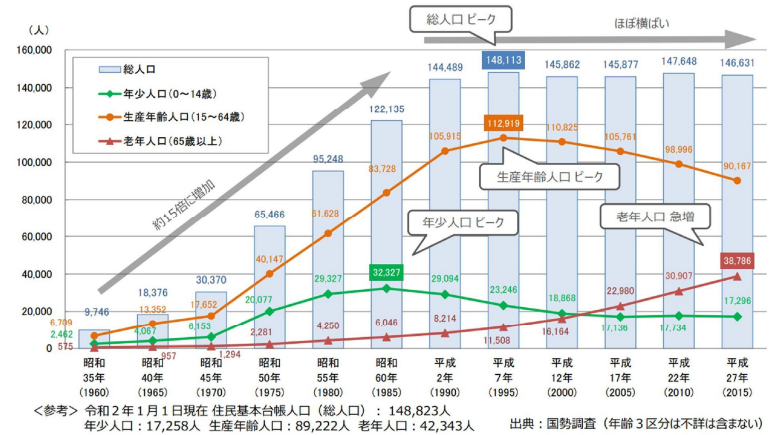


東京都総務局行政部振興企画課『多摩の振興プラン—人の暮らしと自然が調和し、誰もが輝くまちを目指して』(東京都総務局行政部振興企画課、2017年9月発行)第4章「多摩を取り巻く状況」
<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/05gyousei/06sinkouindex/sinkou/06sinkoutamaplan2>

多摩市の人口推移



- 近年は老年人口が年少人口の2倍を超えている
- 多摩市の平均年齢が上昇することで過疎化が見込まれる

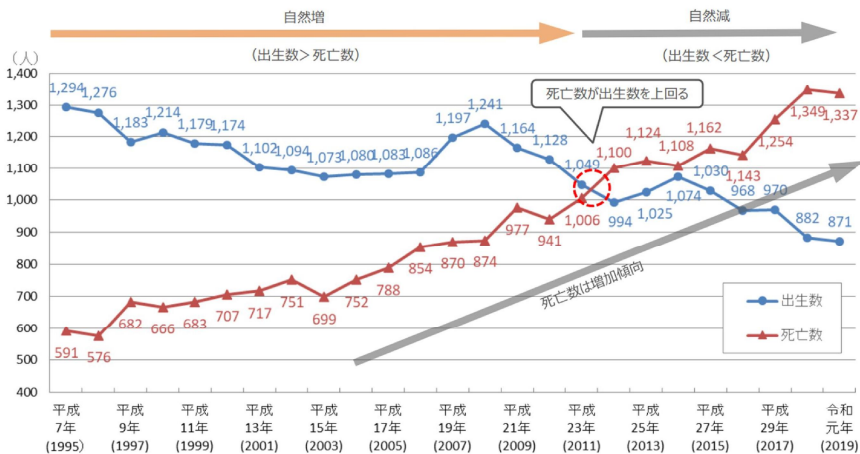


「多摩市の人口動向について—人口ビジョン検討資料」(2020年8月18日開催「令和2年度第1回多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」配布資料、2020年8月) <https://www.city.tama.lg.jp/shisei/shingikai/gyouzaisei/1005871/1005878.html>
https://www.city.tama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/005/878/shiryo6.pdf

多摩市の人口推移



- 近年は死亡者数が出生者数を上回っている

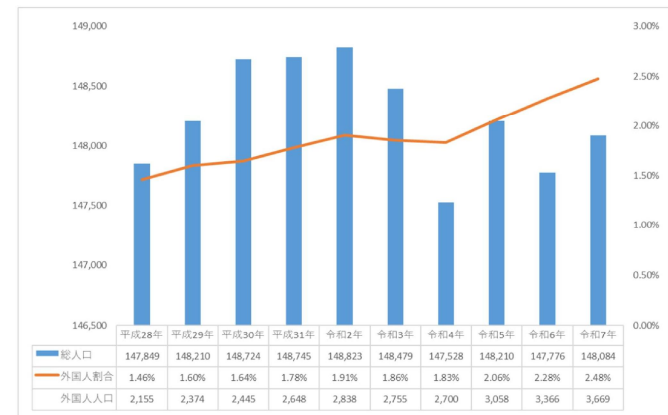


「多摩市の人口動向について—人口ビジョン検討資料」(2020年8月18日開催「令和2年度第1回多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」配布資料、2020年8月) <https://www.city.tama.lg.jp/shisei/shingikai/gyouzaisei/1005871/1005878.html>
https://www.city.tama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/005/878/shiryo6.pdf

多摩市の人口推移



- 人口減少に反して外国人の人口割合は増加
- 日本人と外国人で上手く共生するにはどうすればよいのか



多摩市暮らしと文化部文化・生涯学習推進課『(仮称)多摩市多文化共生推進基本方針 素案』(多摩市、2025年2月14日公開、2025年6月14日閲覧) <https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/kouryu/kokusai/1016591.html>
https://www.city.tama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/016/591/tabunakyousei.pdf

東京都町田市の外国人推移



2025年6月現在、町田市の外国人人口は10,400人



※1 2025年6月1日調べ

この数字は総人口約43万人の内、2.4%にあたり、全国平均に近い数字となっている。



多くがアジア圏(中・韓・越)からであり、近年はベトナムからの流入が増えている。

町田市総務部市政情報課統計担当「町田市住民基本台帳 世帯と人口〈2024年7月1日現在〉」(町田市公式サイト、2024年7月公開、2025年6月14日閲覧)
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2024.html
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2024.files/setaitojinnkou202407.pdf

24

東京都町田市の外国人推移



図1 国籍別外国人人口上位4か国の変化

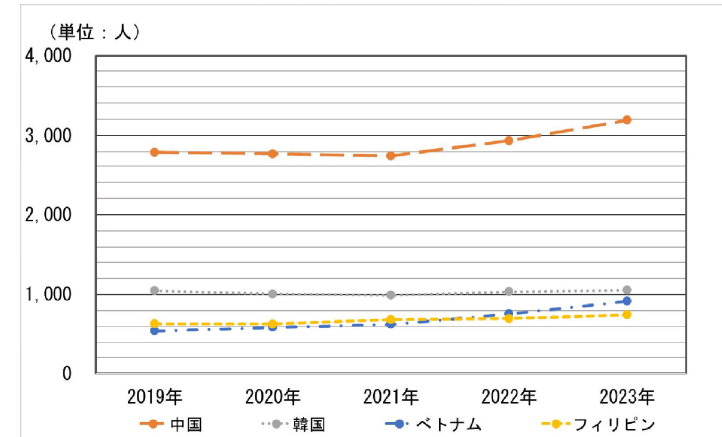


表1から、町田市は中国・韓国・ベトナム・フィリピン・インドネシアといったアジア圏の人口が多いことがわかります。図1の2022年に注目すると、2019年から2021年まで上位4位だったベトナムがフィリピンを上回り、上位3位になっていることがわかります。

町田市総務部市政情報課統計担当「町田市住民基本台帳 世帯と人口〈2024年7月1日現在〉」(町田市公式サイト、2024年7月公開、2025年6月14日閲覧) https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2024.html
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2024.files/setaitojinnkou202407.pdf

25

町田地区で働く外国人



外国人労働者がプロの鉄筋工職人として働いている、
有限会社 カトキン



町田市役所 総務部総務課 統計係「住民基本台帳世帯と人口 2025年6月」
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2025.html setaitojinnkou202506.pdf
(町田市公式サイト、2025年6月公開2025年6月18日閲覧)
町田市役所 総務部総務課 統計係「住民基本台帳世帯と人口 2024年7月」
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2025.html ※2setaitojinnkou202407.pdf
(町田市公式サイト、2024年7月公開2025年6月18日閲覧)
有限会社カトキンホームページ「有限会社カトキン鉄筋職人集団【多くの外国人労働者雇用】」より画像参照
(有限会社カトキンホームページ、2022年作成、2025年6月19日閲覧)

26

多摩ニュータウンの課題



- ・ 高齢化と子世代流出
- ・ 団地の老朽化
- ・ 空き家の増加
- ・ 階段、坂道などの高低差など

これら課題を解決し、老人から子供まで**誰もが暮らしやすい街**を目指す

さらに、外国人留学生や外国人労働者の増加により、多摩地域でも外国人が身近になってきた

→外国人にも暮らしやすく共生できる街を

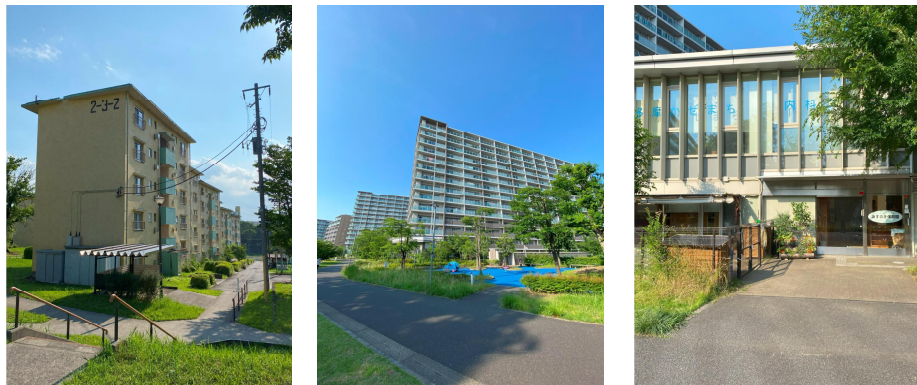
27

取り組み例①



団地の老朽化と街のニーズが時代に合わなくなってきた
⇒団地を壊し、新たなマンションを建設

それにより居住性の向上や若い世代の呼び込みに成功



28

取り組み例②



多摩市では多文化共生のために...

- ・外国人のための日本語教室
- ・外国人のための生活相談
- ・多摩市の生活情報(LIVING GUIDE TO TAMA CITY)
⇒生活ガイドブック 英語、中国語、韓国語に対応
- ・市役所窓口などでのタブレット通訳の導入
- ・外国人向け月刊生活情報誌「HAND in HAND in たま」の発行
- ・やさしい日本語の普及啓発

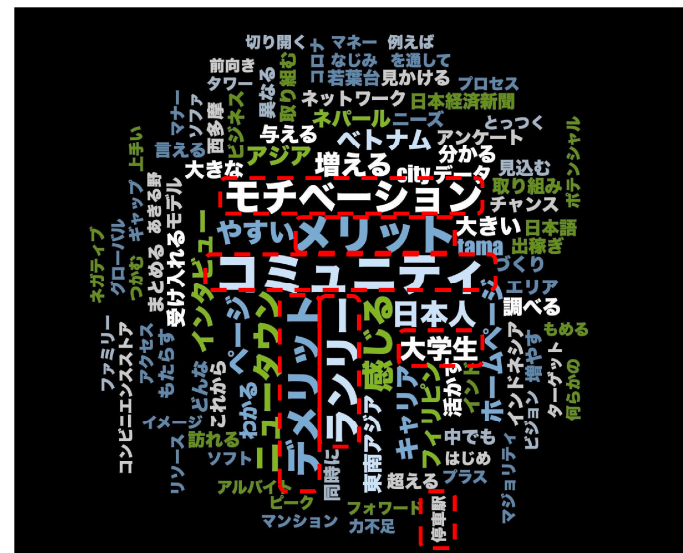
29

今後の計画



30

- (再掲) 全員の関心事を、レポート課題から頻出単語としてワードクラウドにしたもの。



関心が高いものとして、

モチベーション

メリデメ

コミュニティ

ランリー
(水盛先生だけじゃない)

停車駅
(地域性)

31



- 過去の先行研究（多摩学班）の内容も踏まえ、今年には以下のようなテーマにしてはどうかと考えている。

（メインテーマ）

アッパーミドル（中堅富裕層）の外国人は多摩にくるか

（サブテーマ）

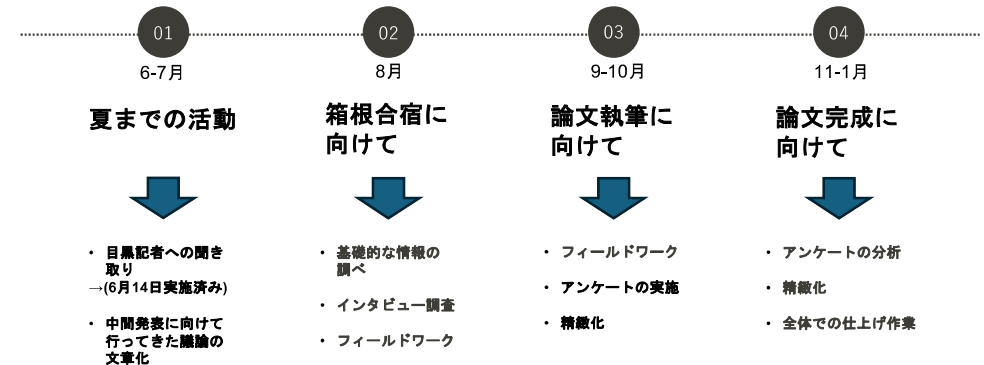
留学生はその一端になりうるのか

32



今後の活動計画

- アンケート調査、聞き取り調査を設計する
- 各種調査、有識者へのインタビュー、フィールドワークを行い、議論を深める
- 文献調査を並行し、各自の議論を深化 → 論文へ！



33



（研究案の一例） 富裕者層と大学生の交流効果？（1）

● 研究テーマ

多摩地区の大学生※1と外国籍移住富裕層※2の交流が切り拓くキャリア形成モデル～教育現場・企業が活用できる交流促進策の初期検討～

※1 大学生 ※2 移住富裕層と以下称す

● 背景

- ・ 中国・インドの移住富裕層の日本在住数が増加
- ・ 大学生と移住富裕層の交流機会はほとんどない
- ・ 教育関係者・保護者・企業は、移住富裕層のリソースや国際ネットワークの活用に関心（要調査）

● 目的

- ・ 移住富裕層への調査により大学生との交流の可能性を探る
- ・ 企業人事担当者への調査から採用・育成への影響を明らかにする
- ・ 大学生への調査により交流への意欲やキャリア期待を把握

34



（研究案の一例） 富裕者層と大学生の交流効果？（2）

● 研究方法

インタビュー調査、（大学生のみアンケート調査を実施）

< 調査対象 >

- ・ 移住富裕層（期待・交流の形態）
- ・ 新卒採用企業の人事担当者（採用・育成視点）
- ・ 大学生（交流意欲・キャリア形成のニーズ）

● 期待される成果

- ・ 富裕層の資源やネットワークを活かした、大学生のキャリア形成・企業採用への具体的効果の整理
- ・ 国際感覚・文化的知見を活かした、教育・地域と連携した交流モデルの提示
- ・ 教育関係者・保護者・企業向けに、「富裕層との交流」の価値を理解・活用するための指針を提供

35



- 6/14に朝日新聞社・目黒記者へのインタビューを行い、今後、昨年訪問した方々への再訪のほか、新たに外国人CEOや起業家の方々への訪問を検討中。



井口り子「さまざまな国へ向かう東南アジアの海外就労者～日本の外国人労働者誘致の競争相手は韓国・台湾以外にも～」
 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング 2024年3月6日最終更新 2025年6月17日閲覧)
https://www.murc.jp/library/economyresearch/analysis/research/report_240306/
https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2024/03/report_240306_01.pdf

外国人雇用相談室「外国人労働者の賃金 現状と課題、日本人との違いなどを丁寧に解説！1-1 事実、外国人労働者の賃金は日本人より低い」(作成日2022年4月19日 最終更新日2023年2月25日 2025年6月17日)
<https://ghrlab.com/article/foreign-workers-wage>

株式会社サーベイリサーチセンター「令和6年度 在留外国人に対する基礎調査 報告書」(令和6年度出入国在留管理庁委託事業、2024年11月作成、2025年6月14日閲覧)
<https://www.moj.go.jp/isa/content/001436052.pdf>

厚生労働省「外国人技能実習制度の現状と課題 令和5年7月25日 第11回繊維産業技能実習事業協議会資料」(作成日2023年7月25日 最終更新日2025年1月27日 2025年6月17日閲覧)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/global_cooperation/index.html
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/ginoujishshukuyougikai/230725/3-1.pdf

厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課海外人材受入就労対策室「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和6年10月末時点)(厚生労働省公式サイト、2025年1月31日発表、2025年6月14日閲覧)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html



出入国在留管理庁「外国人との共生社会の実現に向けた取組と課題——「生活オリエンテーション」と「相談窓口」を中心に」(2023年2月22日開催「令和4年度外国人の受入れと社会統合のための国際フォーラム」) 出入国在留管理庁在留管理支援部長 塚宏講演資料、2025年6月14日閲覧)
https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page23_004412.html
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100546100.pdf>

出入国在留管理庁「令和6年末現在における在留外国人数について」(公式サイト、2025年3月14日発表、2025年6月14日閲覧) https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00052.html

田中愛湖「技能実習生は就労ビザに変更できるのでしょうか？」(行政書士たなかオフィス、2023年2月8日最終更新、2025年6月14日閲覧) <https://qifu-gyousei.com/> 技能実習生は就労ビザに変更できるのでしょうか?

多摩市文化・生涯学習推進課 文化・生涯学習推進担当「多文化共生について ～あなたも今日から多文化共生～」(多摩市、2023年9月1日更新、2025年6月18日閲覧)
<https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/kouryu/kokusai/1012701.html>

多摩市くらしと文化部文化・生涯学習推進課『(仮称)多摩市多文化共生推進基本方針 素案』(多摩市、2025年2月14日公開、2025年6月14日閲覧)
<https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/kouryu/kokusai/1016591.html>
https://www.city.tama.lg.jp/res/projects/default_project/page_001/016/591/tabunakyousei.pdf



多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会「多摩市の人口動向について——人口ビジョン検討資料」(2020年8月18日開催「令和2年度第1回多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」配布資料、2020年8月) <https://www.city.tama.lg.jp/shisei/shingikai/gyouzasei/1005871/1005878.html>
https://www.city.tama.lg.jp/res/projects/default_project/page_001/005/878/shiryo6.pdf

東京都総務局行政部振興企画課『多摩の振興プラン——人の暮らしと自然が調和し、誰もが輝くまちを目指して』(東京都総務局行政部振興企画課、2017年9月発行) 第4章「多摩を取り巻く状況」
<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/05gyousei/06sinkouindex/sinkou/06sinkoutamaplan2>
<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/soumu/tamaplan205>

舛友雄大『潤日——日本へ大脱出する中国人富裕層を追う』(東洋経済新報社、2025年2月)

町田市総務部市政情報統計担当「町田市住民基本台帳 世帯と人口〈2024年7月1日現在〉」(町田市公式サイト、2024年7月公開、2025年6月14日閲覧)
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2024.html
https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/toukei/setai/machisetajin/setaitojinnkou_2024.files/setaitojinnkou2024_07.pdf

ワークスモバイルジャパン株式会社プレスリリース「【外国人労働者とのコミュニケーション実態に関する調査】一緒に働いたことがある会社員の55%が「意思疎通が十分でない」と回答—49%が「口頭で説明をしても正しく伝わっているか把握できない」と回答し、業務マニュアルの理解などテキストコミュニケーションにも課題感」(公式サイト、2023年5月30日作成、2025年6月14日閲覧) <https://line-works.com/pr/20230530/>